

報道関係者各位

ミャンマー・サイクロン・ギリ被災者支援  
**日本人スタッフ駐在経験を生かし緊急支援を開始**  
**被災生活の衛生状態の改善に向け、水衛生キットを配布**

社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

子どもたちのための民間の国際援助団体 (NGO) の社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン (理事長：上野昌也／理事・事務局長：渋谷弘延、以下 SCJ) は、11月17日よりミャンマー西部のラカイン州にて、子どもを含む被災世帯約 12,500 人に対し、水衛生キットの緊急配布事業を開始しました。

ミャンマー政府によると、今年10月22日から23日にミャンマーを襲った大型サイクロン・ギリの影響で、現地では死者45名、全壊家屋15,000世帯という甚大な被害をもたらされました。なかでも、SCJが支援を行うラカイン州のミエボン・タウンシップでは、80%以上の家屋が倒壊しており、被害は深刻です。

SCJは、2001年よりミャンマーで活動を展開しており、日本人スタッフの駐在のもと、これまでに栄養改善事業や災害時の緊急支援等に取り組んできました。2008年5月に発生したサイクロン・ナルギスの被災時もいち早く被災地に入り、支援物資の配布をはじめ緊急教育支援や漁業復旧支援など包括的な視点で子どもたちへの支援活動を展開した経験を持ちます。今回の災害を受け、SCJでは、これまで培ってきたネットワークやノウハウを生かし、被災者の生活に不可欠である水衛生キットを配布し、現地のニーズにこたえていきます。水衛生キットには、ポリタンク、ろ過器、バケツ、石鹸、洗剤等が含まれます。これらの配布により、被災下における水の運搬・保存、安全な飲料水の確保、そして、被災者の衛生状態の改善を図ることを目指します。

**<事業概要>**

- ◆支援地 : ミャンマー・ラカイン州  
ミエボン・タウンシップの南部8村
- ◆実施期間 : 2010年11月17日～2010年12月9日
- ◆事業予算 : 約800万円  
(ジャパン・プラットフォームの助成による)
- ◆対象人数 : 約12,500人  
(被災した約2,500世帯を対象)
- ◆主な内容 : 水衛生キットの配布  
※キットには、ポリタンク、ろ過器、バケツ、石鹸、洗剤など、被災者の健康を守るために必要な物資が含まれます。

©Save the Children  
サイクロンによって破壊された家屋と子どもたち

本事業を担当するスタッフへのご取材も承ります。広報担当者までご連絡ください。

**■セーブ・ザ・チルドレンとは**

1919年設立。数少ない団体にだけ認められた、国連経済社会理事会 (UN ECOSOC) の NGO 最高資格である総合諮問資格 (General Consultative Status) を取得しています。現在、世界で29カ国のそれぞれ独立した組織が、パートナーを組み、世界最大のネットワークを活かして、120カ国以上で活動を展開しています。